

【取組み内容】

上天草パールライン釣り大会：釣った魚と拾ったゴミの総重量を競うおそらく日本初の釣り大会を2022年から毎年10月に開催。

これまでの大会累計で971kgのゴミを回収。

釣り人によるアマモ場再生プロジェクト：釣り人の手によって上天草市のアマモ場を再生する取り組みを実施。将来的にはブルーカーボンクレジットとして売却し、次のアマモ場造成等の活動資金とすることを旨とする。



評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	釣り大会：場所を選ばず必要最小限の設備で少人数実施可。横展開容易。 アマモ：造成の手法は参考資料が多数公開。一定の支出があるが補助金活用、企業協賛、Jブルークレジット販売収益などの資金確保も可能。
包摂性	大会を通じて釣り人が楽しみながらゴミ拾いが可能で、釣り初心者でも参加できる。アマモを増やすことで海の豊かさを守ることにつながる。
協働性	大会への協賛企業30社超。地元上天草市役所とも連携。熊日釣りタイムとも連携し、情報発信。アマモは天草漁協とも密に連携。
統合性	企業・行政・市民・釣り人とのパートナーシップで企画・運営をしており、海の豊かさを守り、気候変動対策にもつながる取組
透明性	活動結果は、団体のSNS・公式ウェブサイトにて必ず掲載。ゴミの重量を毎回測定。大会累計971kg回収。アマモもCO2吸収量を測定予定。

貢献するSDGsのゴール

